

新型コロナウイルス感染症の5類移行後の当院の対応について

初台リハビリテーション病院

2023年5月8日より新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に変更となりました。しかし、ウイルスの特性に変化はなく、当院には重症化リスクが高い方が多く入院されているため、引き続き院内感染の拡大防止に努める必要があります。当院はリハビリテーション専門病院のため感染症病棟はありませんが、2023年9月30日をもって東京都が行う転院調整が終了となったため、新型コロナウイルス感染時の感染症病棟への転院は困難な状況となっています。これらを踏まえた以下の対応を当面継続しますので、御理解、御協力をよろしくお願いたします。対応については地域での発生状況、連携急性期病院の状況等を確認しながら今後も検討を継続し、随時変更することがあります。

○ 入院中に感染が判明した患者さま

【隔離方法について】

多床室の方は病室の変更はせず、自室のカーテン内に隔離対応させていただきます。

【転院について・入院費用・コロナ治療薬費用について】

今までは他病院のコロナ病床への転院が可能でしたが、5類感染症では軽症の場合は原則的に転院をすることはできません。中等症Ⅱ(酸素投与必要)以上に重症化した場合、重症化の傾向がある場合には専門病床への転院を打診します。また5類感染症では、家族内感染、院内感染等の感染源に関わらず、療養期間中の入院医療費及びコロナ治療薬についての自己負担分費用が生じます。

【感染判明後の訓練の実施について】

感染判明時は一旦リハビリ訓練を中止します。

発症後は症状の経過をみながら、可能と判断したタイミングで个人防护具を使用しながら訓練を再開します。訓練時間は平常時よりも制限することがあります。

○ 陽性が判明した方の同室内患者さま

【濃厚接触者対応について】

同室内の方は、院内での感染拡大防止の観点から、全て、濃厚接触者としての対応を行います。陽性患者さまとは同室内にて、濃厚接触者としてのカーテン内隔離を実施し、个人防护具を使用しながら訓練を継続します。訓練時間は平常時よりも制限することがあります。同室者の発症日を0日として1-4日の間に1回、5日目に1回のPCRまたは抗原検査を行い、2回とも陰性が確認されれば、濃厚接触者対応が解除され、自室外での訓練を再開します。

以上